

CSRへの取組み

Kirayaka Financial Group

リスク管理態勢の強化について

私たち金融機関は、信用リスクを始めとして、市場リスクや流動性リスク、オペレーショナル・リスクなど、業務上様々なリスクを抱えて運営を行っております。

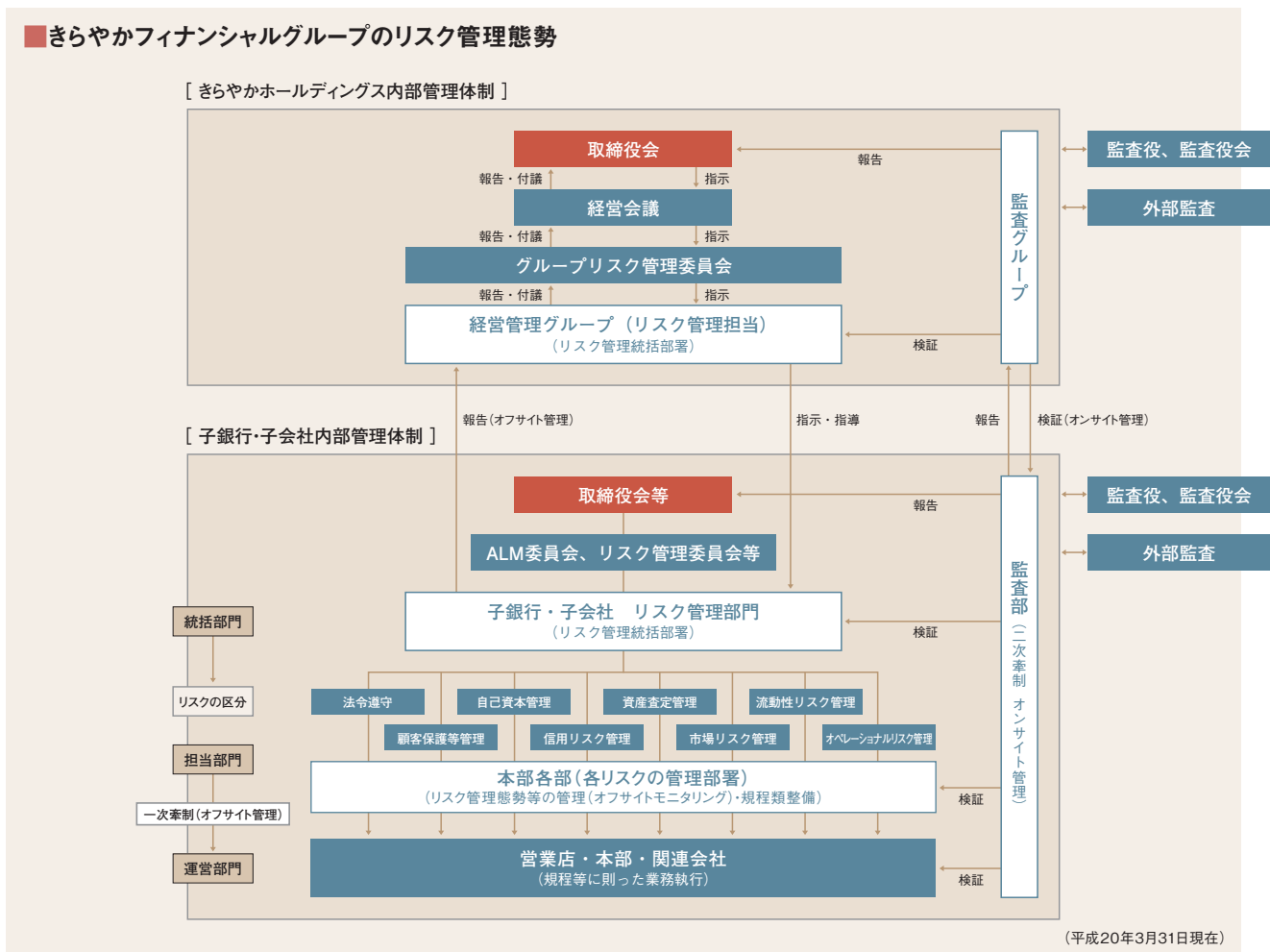
また、金融の自由化によって収益機会が増加する一方で、グローバル化や金融技術高度化の進展に伴って、その発生するリスクも複雑化かつ多様化してきているため、金融機関におけるリスク管理の重要性は従来にも増して高まってきております。

このような環境下、当グループでは、リスク管理を経営の最重要課題であると考え、当社および子銀行にリ

スク管理部署を設置しております。持株会社である当社は、「グループリスク管理委員会」を開催し、グループ会社全体のリスクの把握や管理を一元的に行い、より監視機能を働かせたリスク管理の強化を図っております。

また、当グループでは、リスク管理規程を制定してリスクのモニタリング体制の整備に努めるとともに、経営の健全性の確保と収益力の向上を図るため、統一的な尺度によるリスク量の把握などリスク管理の高度化も進めており、統合的なリスク管理態勢の整備に向けた取組みを一層強化してまいります。

■ きらやかフィナンシャルグループのリスク管理態勢



■ CSR (corporate social responsibility) : 企業の社会的責任

法令遵守や利益貢献といった責任を果たすことはもとより、地域や社会の顕在的・潜在的な要請に応えるといった企業の社会的責任のこと。具体的には、「適切な企業統治と情報開示」「誠実な消費者対応」「個人情報保護」「地球環境への配慮」「ボランティア活動支援などの社会貢献」「地域社会への参加などの地域貢献」等があげられます。

■ ALM (Asset Liability Management)

●「資産負債の総合管理」を意味し、金利・為替などの市場動向を分析・予測し、市場性リスクの総量を定量的に把握したうえで、市場動向に合わせて資産と負債の構成をコントロールすることにより、収益の極大化および安定化をはかることをいいます。●金利自由化の進展により、銀行の収益構造は、特に金利変動の影響をこれまで以上に受けやすくなっており、ALMの巧拙が銀行の収益力および安全性に大きな影響を及ぼすようになっていきます。

■信用リスク

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産の価値が減少ないし消滅し、損失を被るリスクをいいます。

当グループでは子銀行が、個別債務者に対する厳正な与信審査・管理を行うことで個別債務者の信用リスクを管理するとともに、ポートフォリオ管理により銀行全体のポートフォリオの信用リスクの分散を図っております。

個別債務者の信用リスク管理については、審査部門が個別債務者毎に財務分析、業界動向、資金使途、返済計画等の評価を行っております。評価は、新規与信実行時および、実行後の自己査定において定期的に行い、常に個別債務者の信用状況を把握するよう努めております。自己査定とは、債務者区分および担保・保証等の状況をもとに、債権の回収の危険性の度合いに応じて資産の分類を行うものです。審査部門は、自己査定の集計結果等を経営に報告しております。

銀行全体の与信ポートフォリオについては、リスク管理部門が、業種集中度合や大口集中度合等のモニタリングを定期的に行い、集中リスクを排除したポートフォリオ構築を図っております。リスク管理部門は、モニタリング結果を定期的に経営に報告しております。

子銀行では、行内格付制度を導入しております。行内格付制度は、個別債務者に信用度に応じて信用格付を付与し分類するもので、子銀行では、案件審査や与信管理、与信ポートフォリオのモニタリングを行う上で、行内格付を利用しております。

【自己査定と償却・引当】

子銀行では、金融検査マニュアル等に則した自己査定基準及び償却・引当基準を定めており、自己査定を定期的に行い、適切な償却・引当を行っております。

貸倒引当金は、償却・引当基準に基づいて計上しており、債務者区分が「正常先」「要注意先」に該当する債権については、一定の種類毎に分類し、過去の貸倒実績から計算した将来の予想損失額を一般貸倒引当金に計上しております。「破綻懸念先」「破綻先」「実質破綻先」に該当する債権については、担保・保証等により回収が見込まれる部分以外の額について、直接償却又は個別貸倒引当金の計上を行っております。

■市場リスク

市場リスクとは、金利、有価証券等の価格、為替等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産・負債の価値が変動し損失を被るリスクをいいます。

当グループでは子銀行において、市場取引執行部門であるフロントオフィス、市場取引事務部門であるバックオフィス、およびリスク管理部門であるミドルオフィスの3部門による相互牽制体制とし、市場リスク管理態勢の強化に努めております。

リスク管理部および経営企画部は、市場リスク量を適切にコントロールするために市場リスクの状況をモニタリングしております。具体的には、計量可能な市場リスクについては市場リスク量を計測し、また、ストレス・テストやシミュレーション分析を行って、金利・株・為替市場が大きく変動した場合に、当行が抱える市場リスク量や、当行の損益に与える影響等を試算しております。また、リスク管理部は、市場リスクの状況について定期的に経営に報告しており、リスク管理委員会等において、市場リスクが当行の自己資本の状況に対して許容できる状況に収まっていることを確認するとともに、市場リスクのコントロールに関する方針の検討を行っております。

■流動性リスク

流動性リスクとは、財務内容の悪化等により必要な資金が確保できなくなり、資金繰りが困難となる場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被る資金繰りリスクや、市場の厚みが不十分なことなどから通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることなどにより損失を被る市場流動性リスクをいいます。

当グループでは子銀行が、日々の資金の運用、調達の状況の適切な管理を行い安定的な資金繰りを達成するとともに、状況に応じた流動性準備や資金調達手段の方法を定めるなど、流動性の確保に十分配慮した運営を行っております。

CSRへの取組み

Kirayaka Financial Group

■オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクをいいます。

当グループでは子銀行が、お客さまの利益を保護するとともにお客さまからの信頼を損なうことのないよう、規程の整備、営業店への研修や事務指導を通して堅確な事務処理体制の構築に努めております。

具体的には、オペレーショナル・リスクを事務リスク、システムリスク、情報管理、レピュテーション・リスク、イベント・リスクの5つに分けて管理しております。

また、個別規程として、事務リスク管理規程、システムリスク管理規程、レピュテーション・リスク管理規程等の行内規程を定め、各リスクについては、それぞれ事務部、システム部、経営企画部、総務部等の管理部署が個別リスクを管理し、事故データ等の蓄積を行っているほか、リスク管理部に定期的に状況を報告する態勢としております。

リスク管理部は、各部からの報告を踏まえてオペレーショナル・リスク全般のモニタリングを行っており、その結果を定期的に経営に報告しております。

コーポレートガバナンス

■コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株式会社殖産銀行と株式会社山形しあわせ銀行により、平成17年10月3日に銀行持株会社として設立されました。

持株会社による一元的な経営管理体制により、統合効果の早期実現とグループ全体としての最適な経営戦略策定、経営資源配分等を実施しております。

これまで両銀行の傘下にありましたカード会社2社・リース会社2社につきましては、平成18年6月にカード会社を、平成18年9月にリース会社を当社の完全子会社とし、平成19年4月1日にそれぞれ合併し、「き

らやかカード株式会社」「きらやかリース株式会社」として新たなスタートを切っております。

また、平成19年5月7日、当社の子会社の株式会社殖産銀行と株式会社山形しあわせ銀行が合併し、「株式会社きらやか銀行」が発足いたしました。

これをもって「きらやかフィナンシャルグループ」の一連の経営管理体制構築がなされ、当社の指導・統制のもと地域総合金融グループとして、事業の展開を行っております。

■会社の機関の内容および内部統制システムの整備の状況

当社では、最高意思決定機関である株主総会、業務意思決定機関である取締役会の下に、持株会社としての機能を十分に発揮できるよう以下の組織体制を整えております。

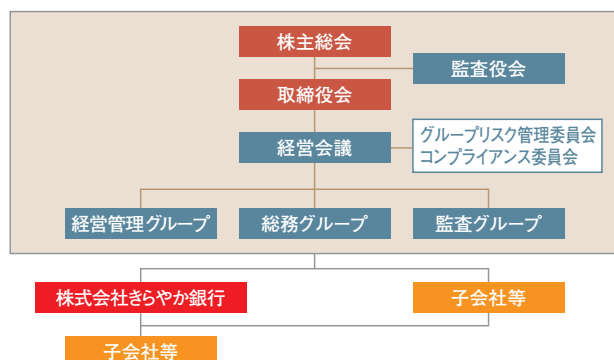
取締役会の下には「経営会議」を設置し、グループ経営計画・方針等の具体的協議を行うとともに、取締役会で決定した方針等に基づいた子会社の経営状況、執行状況について報告を受けるなど、グループ全体を把握する経営管理機能を担っております。

また、当社グループのリスクコントロール態勢については、当社においてモニタリングを実施するとともに「グループリスク管理委員会」を定期的に開催し、グループ全体のリスクについて適切な管理を行っております。

また、「グループ会社会議」では、関連会社を含めたグループ内の連携と調整・コントロールを行うなど、統合効果の早期実現に向けたガバナンスを強化しております。

さらに、当社グループの重要な経営課題のひとつと位置づけているコンプライアンスについては、「コンプライアンス委員会」を設け、グループ全体の法令遵守に係る事項を管理し、その態勢の整備に向けた指導・監督を強化しております。

□ 社内の機関・内部統制の関係



□ 会社の機関の内容および内部統制システムの整備の状況

① 取締役会

経営に関する重要な事項、方針及び業務の執行に関わる決定を行うとともに、経営・業務執行の監督機能も担っております。

また、当社は常務執行役員2名が常勤しており、業務の全般を執行するとともに、取締役会に出席しております。取締役会は、つきに1回の定例のほか、必要に応じ臨時に招集しております。

② 監査役会

常勤監査役は、取締役会・経営会議・グループリスク管理委員会・コンプライアンス委員会への出席により業務執行の実態把握に努めており、監査役は取締役会への出席や意見具申により、取締役の職務執行状況を監査しております。

常勤監査役1名、社外監査役3名を選任いたしております。監査役会は、原則月に1回開催しております。

③ 経営会議

当社グループの経営計画・方針等の具体的協議を行うとともに、取締役会で決定した方針等に基づいた各会社の経営状況、執行状況について報告を受け、迅速かつ機動的な機能を果たしております。

取締役6名で構成し、これに常勤監査役が加わっております。経営会議は、原則週に1回開催しております。

④ グループリスク管理委員会

当社グループの「健全性の確保」と「収益性の向上」を図ることを目的とし、グループの戦略目標を踏まえたリスク管理方針、グループに内在する各種リスクの状況の把握と評価、その他リスク管理に係る事項等を協議しております。

取締役社長を委員長とし、取締役全員、経営管理グループ経営企画担当マネージャー、並びに子銀行のリスク管理部門担当部長等で構成しており、これに常勤監査役が加わっております。グループリスク管理委員会は、原則月に1回開催しております。

⑤ グループ会社会議

当社グループの経営方針とグループ会社の経営戦略等の調整・徹底、経営に関する重要な情報を共有することを目的としております。

当社取締役会長、取締役社長（議長）、専務取締役、常務取締役、並びに各グループ会社の代表取締役で構成し、当社グループ統括マネージャー並びに子銀行企画担当部長も加わっております。グループ会社会議は、随時開催しております。

⑥ コンプライアンス委員会

金融機関の持つ公共的使命に鑑み、法令や社会的規範等の逸脱を防止し、厳格な自己規律による信頼性を確保して、当社グループのコンプライアンス態勢を強固なものとするを目的としております。

取締役社長を委員長とし、取締役全員及び各グループの責任者で構成しており、これに常勤監査役が加わっております。コンプライアンス委員会は、随時開催しております。

⑦ 業務遂行

上記機関および委員会の下、経営管理グループ・総務グループ・監査グループがそれぞれの担当業務を遂行しております。

CSRへの取組み

Kirayaka Financial Group

■内部監査および監査役監査の状況

当社の内部監査は、所管部署である監査グループ（現在人員10名）が、取締役会で承認された監査計画書（年度）に基づき、子銀行の監査部門と連携して、内部管理の状況に応じた頻度・深度を考慮しながら以下の通り実施しております。

- 当社内各グループの監査は、当社監査グループが実施
- 子銀行の本部監査は、当社監査グループと子銀行の監査部門が共同で実施
- 子銀行の営業店並びに子銀行の子会社監査は、子銀行の監査部門が実施し、当社監査グループはその内容についてモニタリング監査を実施

また、内部監査によるリスク管理態勢・コンプライアンス態勢・内部統制機能などの適切性・有効性の検証結果については、毎月取締役会に報告しております。

なお、子銀行の監査部門の現在人員は、16名であります。

監査役は、監査役会監査計画書（年度）に基づき、当社監査グループ、子銀行監査部門からの報告聴取、会計監査人との意見交換、当社および子銀行に対する業務監査や重要書類の閲覧・調査を行い、当社並びに子銀行の内部管理態勢の検証を目的とした監査を実施しております。また、監査役は、取締役会をはじめ

とした当社の重要な会議に出席し、取締役の職務執行の適法性と妥当性に対する監査を実施しております。

コンプライアンス態勢について

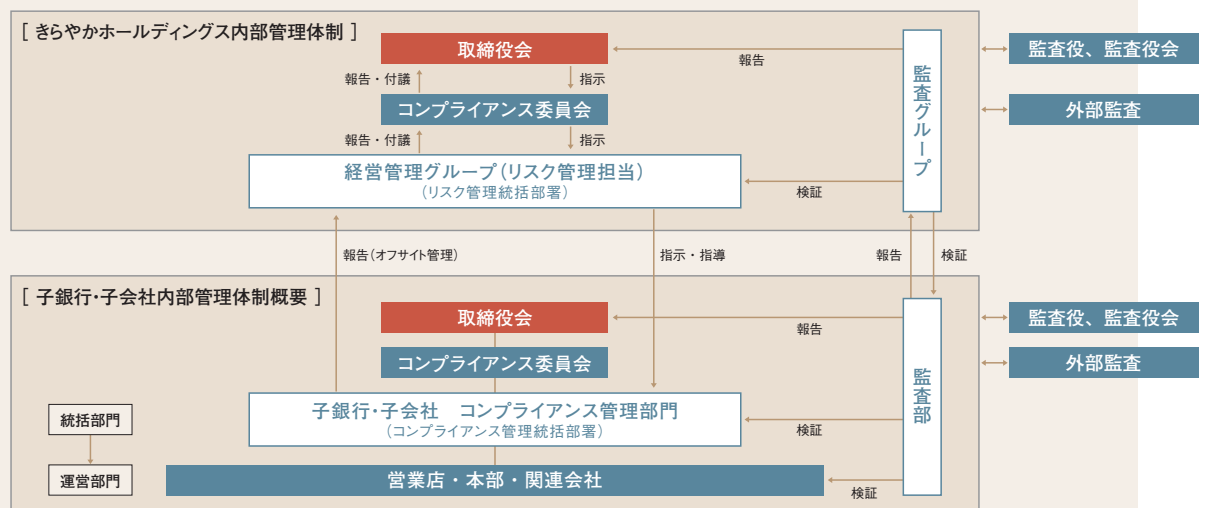
当社グループは、金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たし、地域社会におけるゆるぎない信用と信頼を確立するためには、法令・諸規則を遵守した公正な企業活動の遂行と、役職員一人一人の確固たる倫理観と誠実さに基づいた公正な行動の実践が不可欠と考えております。

当社グループが「経営目標」の一つとして公表しております「高い志と倫理観に基づく確かな経営基盤を構築し、地域の信頼に応えます。」は、コンプライアンス態勢を強化して、高い企業倫理に基づいた公正な企業活動を行う決意を、内外に表明したものであります。

具体的には、当社および子銀行にコンプライアンス統括部署を設置し、コンプライアンスを実践するための実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を策定して、定期的にその進捗管理を行っております。

また、当社および子銀行で、原則として月に1回「コンプライアンス委員会」を開催してコンプライアンスに関する諸協議を行い、コンプライアンス態勢の確立に向けての取り組みを行っております。

■きらやかフィナンシャルグループのコンプライアンス態勢



(平成20年3月31日現在)

金融商品に関する勧誘方針について

お客さまへの勧誘の指針として「金融商品に関する勧誘方針」を定め、お客さまのニーズに合わせた営業活動を行っております。

【金融商品勧誘方針】

当行は、次の5項目を遵守し、お客様に対しまして金融商品の適切な勧誘を行います。

- 1 お客様の金融商品に対するご認識やご経験、財産の状況および投資目的をお聞きし、お客様の立場に立った適切な商品をお勧めいたします。
- 2 お客様のご判断と責任においてお取引いただくため、商品内容やリスク内容などの重要事項につきまして、十分なご理解をいただけるよう、説明に努めます。
- 3 お客様から信頼していただくことを第一義とし、断定的判断に基づく説明や事実と異なる情報の提供、お客様の誤解を招くおそれのある説明、迷惑な勧誘は行いません。
- 4 早朝、深夜、休日などのお客様がご迷惑となる時間帯に、電話・訪問による勧誘は行いません。
- 5 お客様に適切な金融商品を適切な方法でお勧めできますよう、常に商品知識の習得と行内ルールの整備などに努めます。

本勧誘方針は、確定拠出年金法上の「企業型年金に係る運営管理業務のうち運用の方法の選定及び加入者等に対する提示の業務」および「個人型年金に係る運営管理機関の指定もしくは変更」に関して準用いたします。

金融商品の勧誘・販売に関する苦情・お問い合わせ等がございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

■金融商品の販売に関するお問い合わせ窓口

【株式会社 きらやか銀行】

窓口	リスク管理部 法務コンプライアンス室
所在地	〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001 (代)
受付時間	平日 9:00 ~ 17:00

個人情報保護への取り組み

「個人情報の保護に関する法律」に対する取り組みとして、プライバシーポリシーを策定し、ホームページに公表しております。

あわせて、個人情報保護に関する法令等を遵守するため各種規程・マニュアルの制定・改定を行ない、お客さまの個人情報を適正かつ厳格に管理できる態勢を整備しております。

個人情報に関するお取り扱いに関してご不明の点等がございましたら、下記窓口へお問い合わせください。

■個人情報に関するお問い合わせ窓口

【株式会社 きらやかホールディングス】

窓口	経営管理グループ
所在地	〒990-8578 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-628-3944 (代)
受付時間	平日 9:00 ~ 17:00

【株式会社 きらやか銀行】

窓口	リスク管理部 法務コンプライアンス室
所在地	〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001 (代)
受付時間	平日 9:00 ~ 17:00

CSRへの取り組み

Kirayaka Financial Group

環境保全への取り組み

きらやかフィナンシャルグループが基盤を置く山形県は、豊かな自然環境に恵まれております。私たちは、環境にやさしい企業づくりを実践するため、事業活動での環境負荷を減らす活動を続けております。

■紙類のリサイクル

きらやかホールディングス社内・きらやか銀行行内をあげてゴミの分別処理徹底を図っております。

排出する事業用の紙類は資源ゴミとして業者へ持ち込んでおり、持ち込まれた紙類は100%リサイクルされております。

■エコオフィスづくり

地球温暖化防止のため、室温を一定温度に設定してエネルギー使用量の削減に取り組む、「クールビズ」「ウォームビズ」を実施しております。「エコオフィス運動」期間中は、室温を夏28℃、冬20℃に設定し省電力による地球温暖化ガス(CO₂)削減に努めているほか、照明や事務機器の適正使用の徹底、エコドライブの励行およびマイカー使用の自粛を実施しております。

また、環境負荷の小さい製品を優先購入する「グリーン購入」を実施しているほか、行用車の一部に低公害車(ハイブリッド車)を導入しております。

■環境対応型商品のご提供

平成20年6月30日より「美しい山形・最上川定期」の取り扱いを開始いたしました。当該定期預金残高の0.01%相当額(各々上限100万円)を環境活動等に寄付いたします(→28、35ページ)。

また、投資信託商品に「地球環境株ファンド(愛称:環境くん)」を採用しております。

キャッシュカードの不正利用対策への取り組み

偽造・盗難キャッシュカード等により、お客さまのご預金が不正に引き出される被害が多発しています。被害に遭わないためにも、キャッシュカードや暗証番号のお取扱いには十分ご注意ください。

きらやかフィナンシャルグループでは、被害の防止策として以下のような取り組みを行っております。

■偽造・盗難カード対策

- 覗き見を防止するため、ATMに遮光フィルターもしくは覗き見防止ボード、後方確認鏡を設置しています。
- 1日あたりのATMでのご利用限度額(1日あたり100万円)を設定しています。
- ATMご利用限度額は、本支店窓口またはATMで変更することができます。
- ATMで暗証番号の変更ができます。
- 暗証番号に生年月日・電話番号など他人に類推されやすい数字を使用しないよう、注意喚起を行っています。
- 万一被害に遭われたお客様に一定の基準で補償を行います。

万一、紛失・盗難に遭われた場合には、直ちに下記までご連絡ください。

ご連絡先	受付時間帯
お近くの当行本支店	平日 8:45 ~ 17:00
ATM監視センター [TEL.023-631-6744]	夜間・早朝 17:00 ~ 8:45 土・日・祝日 0:00 ~ 24:00

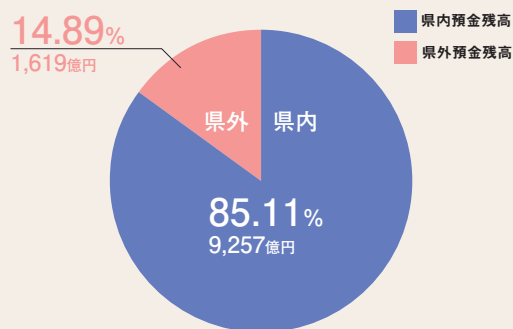
地域の皆さまと共に

お客さまとのお取引構成

■預金の状況

きらやか銀行では、地域のお客さまの多様化するニーズにお応えするため、各種キャンペーンの実施など、お客さまにとって魅力ある商品のご提供に努めております。

総預金残高10,876億円のうち、山形県内のお客さまからお預かりしているご預金の残高は9,257億円で、その割合は85.11%と高い比率となっております。

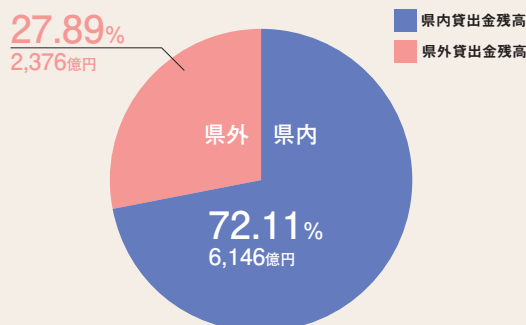


■貸出金の状況

□山形県内向け貸出金の状況

地域のお客さまからお預かりした大切なご預金は、地域の発展のために運用させていただいております。

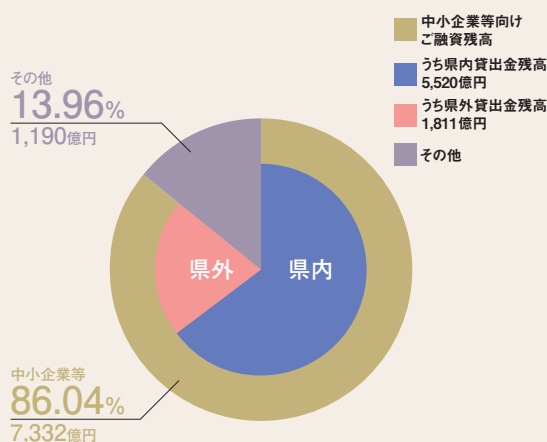
主に山形県内の企業や個人のお客さまの資金需要に積極的にお応えしてまいりました結果、総ご融資残高8,522億円のうち、山形県内向けのご融資残高は6,146億円で、その割合は72.11%となっております。



□中小企業等向け貸出金の状況

地域経済を支える中小企業の皆さまの資金ニーズにお応えするため、円滑な資金の供給に向け積極的かつ迅速に対応しております。

中小企業等向けご融資残高は7,332億円で、総ご融資残高に占める割合は86.04%と高い比率となっております。また、山形県内の中小企業等向けご融資残高は5,520億円で、山形県内向けご融資残高の75.29%となっております。



(平成20年3月末現在)

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
※比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
※預金には譲渡性預金を含みません。

CSRへの取組み

Kirayaka Financial Group

地域密着型金融推進計画への取組み

平成19年度より、①ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化、②事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底、③地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献、を3つの柱とした、「地域密着型金融推進計画」に取り組んでおります。

なお、本計画の進捗状況につきましては、ホームページ上で公開しております。

【きらやか銀行ホームページ】
<http://www.kirayaka.co.jp/>

■ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

□創業・新事業支援

「きらやか起業家ローン」「山形県商工業振興資金」を活用し積極的に融資取組みを行いましたほか、きらやかキャピタル(株)との連携によりベンチャー企業への投資を行いました。

【主な取組み実績】

新規創業・新事業先へのご融資	34件、7億円
----------------	---------

□経営改善支援・事業再生支援

ソリューションスペシャリストを配置し、ビジネスマッチング・ISO認証取得支援等、お取引先企業の幅広いニーズにお応えするとともに、中小企業診断士チームによる企業診断も行っていました。また、企業支援室を設置し経営改善スペシャリストを配置、お取引先企業の経営改善支援・事業再生支援を行いました。

【主な取組み実績】

ミニ商談会開催	4回、84面談
個別商談会開催	7件、19面談
経営改善支援取組み先(率)	110件(4.67%)
再生計画策定率	87.76%
ランクアップ件数(率)	9件(9.18%)

■事業価値を見極める融資をはじめ 中小企業に適した資金供給方法の徹底

□担保・保証に過度に依存しないご融資

CRDスコアリングモデルを活用したビジネスローンを推進いたしました。また、ABLへの取組みの一環として、動産担保ローンの取り扱いを開始いたしました。

【主な取組み実績】

ビジネスローン販売	615件、59億円
-----------	-----------

□資金調達手法の多様化

お取引先企業の資金需要に応じてタイムリーに無担保私募債の利用をご提案し、資金調達手法の多様化を促進いたしました。

【主な取組み実績】

無担保私募債引受	28件、27億円
----------	----------

■地域の情報集積を活用した 持続可能な地域経済への貢献

□地域再生推進のための各種施策との連携

平成19年11月に公務地域振興室を設置し、地元商工会との連携により、地域の資源を活用した新事業展開を行う取組みに対して事業計画書策定の支援を行うなど、積極的に地域再生を推進しております。

また、地域貢献・支援セミナーとして「自動車関連産業セミナー」を開催いたしましたほか、コンサルティングステーションでは資産運用セミナーを随時開催しております。

【主な取組み実績】

資産運用セミナー開催	165回
------------	------

地域の皆さまへの利便性提供

コンサルティングステーション(CS)

投信・保険・ローンの相談業務の拠点として設置しているコンサルティングステーションを拡充し、10拠点いたしました。

平日の夕方や土日にも営業し、資産運用や各種個人ローンの業務に精通したスペシャリストがお客さまのご相談にお応えします(CSにより営業時間が異なります)。

また、コンサルティングステーションでは、お客さまのニーズに合わせた各種セミナーを定期的に開催し、情報の提供を行っております。

平日のお仕事帰りや休日に、お気軽にご来店ください。



名称	所在支店名	電話番号	営業時間
桜町コンサルティングステーション	桜町支店内	023-631-4171	平 9:00~19:00 / 土 10:00~17:00
山形南コンサルティングステーション	山形市小立	023-634-9351	平 土 10:00~18:00
上山コンサルティングステーション	旧上山中央支店	023-672-1132	火 水 木 15:00~20:00 (原則予約制)
天童コンサルティングステーション	天童東支店内	023-654-2555	平 土 10:00~18:00
米沢コンサルティングステーション	米沢中央支店内(資産運用のご相談)・米沢西支店内(ローンのご相談)	0238-23-4777	平 9:00~17:00
新庄コンサルティングステーション	旧新庄北支店(資産運用のご相談)	0233-29-3350	火 水 木 9:00~15:00
鶴岡コンサルティングステーション	新斎町支店内	0235-24-4114	平 9:00~17:00
酒田コンサルティングステーション	東大町支店内	0234-22-6023	平 9:00~17:00
仙台コンサルティングステーション	仙台長町支店内	022-304-2006	平 9:00~17:00
新潟コンサルティングステーション	新発田西支店内	0254-22-6000	平 9:00~17:00

ローンステーション

平成20年5月、仙台地区の個人営業戦略強化の一環として、仙台市泉区(地下鉄南北線泉中央駅ビル内)に「泉ローンステーション」を新設いたしました。

個人ローンの業務に精通したスペシャリストが、住宅ローンを中心とした各種ローンのご相談にお応えします。土日に加え祝日も営業しておりますので、お気軽にご来店ください。(休業日は12月31日~1月3日のみとなります)。



名称	所在地	電話番号	営業時間
泉ローンステーション	仙台市営地下鉄南北線泉中央駅ビル2階	022-371-8075	平 土 祝 10:00~19:00

平日窓口延長・土日営業店舗

桜町支店・天童東支店は、平日の夕方・土日にも営業しております。

平日のお仕事帰りや休日に、お気軽にご来店ください。

支店名	電話番号	営業時間
桜町支店	023-625-8877	平 9:00~19:00 / 土 10:00~17:00
天童東支店	023-654-2555	平 土 10:00~18:00

CSRへの取り組み

Kirayaka Financial Group

インターネット支店

平成20年6月16日、日本国内全域のお客さまを対象にした山形県内初となるインターネット支店「ネットきらやかさくらんぼ支店」を開設いたしました。

インターネット支店は、店舗や窓口を持たず、通帳を発行しないインターネット上に存在する支店です。ご利用いただけるお客さまは日本国内に住所を有する20歳以上の個人の方で、ご自宅・オフィスのパソコンから定期預金のお預け入れをしていただくことができます。

※サービスをご利用になるには事前にお申込みが必要です。

インターネット支店専用商品として、「ん〜まい山形定期預金」(募集期間:平成20年12月12日まで)の取り扱いをしております(→28、35ページ)。

【ネットきらやかさくらんぼ支店】

<http://www.kirayaka.co.jp/netkirayaka/index.htm>

お問合せは、フリーダイヤル **0120-87-0508**
(受付時間:平日 9:00 ~ 19:00) までお気軽にどうぞ。

インターネットバンキング

■個人のお客さま用

〈きらやか〉マイネットバンキング

携帯電話やパソコンから、いつでも、どこでも24時間、お取引口座の残高照会、振込・振替等をご利用いただけます。

※サービスをご利用になるには事前にお申込みが必要です。

■個人事業主・法人のお客さま用

〈きらやか〉オフィスネットバンキング

インターネットに接続したパソコンを使用して、お取引口座の残高照会、振込・振替等をご利用いただけます。

※サービスをご利用になるには事前にお申込みが必要です。

テレホンバンキング

きらやかテレホンバンキングでは、さまざまな銀行取引をオペレーターが直接承り、お客さまのお電話口が銀行窓口になります。ご自宅やお出かけ先から、どうぞお気軽にご利用ください。

※サービスをご利用になるには事前にお申込みが必要です。



【お取り扱い窓口 電話番号】

フリーダイヤル 0120-32-4415
(受付時間:平日 9:00 ~ 20:00)

コンビニATM

セブン銀行とのATM利用提携により、全国のセブン-イレブンに設置されているATMで、当行カードでの入出金・残高照会が可能です。

平成20年6月1日よりご利用時間を延長し、平日、土・日・祝日とも7:00~23:00のご利用が可能となりました。

ATM提携

■ゆうちょ銀行提携

ゆうちょ銀行とのCD・ATM提携により、全国のゆうちょ銀行コーナーでキャッシュカードによる相互入出金・残高照会が可能です。

■ふるさと山形ネットサービス

山形銀行とのCD・ATM提携により、キャッシュカードによる相互入出金手数料無料でご利用いただけます。残高照会・お振込みも可能です。

■東北おむすび隊

仙台銀行・大東銀行・福島銀行とのCD・ATM提携により、キャッシュカードによるお引出しが手数料無料でご利用いただけます。お振込みも可能です。

地域社会の発展・活性化へ貢献

■産学連携と公務地域振興室

山形大学人文学部並びに山形大学地域共同研究センターと「連携協力協定」を締結し、お互いの強みやネットワークを活用した地域貢献活動を行っております。



「公務地域振興室」は、地域に根ざす銀行として地域社会の発展・地域経済の活性化により一層貢献することを目的とした、地域振興の専門部署です。地場産業や観光事業等の振興をはじめとした地域再生支援に向けた取り組みを実践しております。

■ビジネスマッチング

お客さまのニーズにお応えするため、「ミニ商談会」・「個別商談会」と実態に合わせたビジネスマッチングを開催しております。特に、業務提携している「ヤフー」とお客さまとの面談は活気を帯びており、成約数も増加しております。

また、人材コンサルティング会社との業務提携により、マネジメント層や資格保有者等の即戦力確保に多くの課題を抱える中小企業のお客さまに対し、企業が求める人材・企業風土を分析したうえでの人材マッチングを支援しております。

■「こども110番連絡所」への取り組み

子供が巻き込まれる凶悪な犯罪が全国で多発しており、地域での安全対策が大きな課題となっています。



きらやか銀行では地域のこどもを守るため、万一の場合に逃げ込める場として、山形警察署管内（山形市、山辺町、中山町）所在の本支店で、「こども110番連絡所」への取り組みを実施しております。

■山形美術館の入館料負担

地域の文化や芸術の振興に役立つことを願い、小・中学校の児童生徒を対象に、原則毎月2回、山形美術館への入館料を当行で負担しております。

■美しい山形・最上川フォーラム

最上川をシンボルとした山形県の地域文化・地域経済の活性化を目的とした「美しい山形・最上川フォーラム」に協賛しております。

■(財) きらやか銀行産業振興基金

地域産業発展への寄与を目的に、県内企業に対して「きらやか産業賞」「ベンチャービジネス奨励賞」等の表彰および助成を行い、中小企業の育成に努めております。

■(財) きらやか銀行教育振興基金

教育振興への寄与を目的に、図書教材の寄贈をはじめ学校教育施設や教材・教具の整備・助成に努めております。

くらしを見つめ、考えたこと、感じたこと、経験したことなどを文章に表現することによって、子供たちの生活に潤いを持たせ、作文力の向上を図ることを目的に、毎年、山形県内各地の小学生から作文を募集し、「くらしの文集」を発刊しております。

■(財) きらやか銀行教育福祉振興会

学術の振興や社会福祉の向上、交通安全や生活環境の整備拡充を助成するため、県内を中心に各種学校・団体・施設等への寄贈を行っております。

■(財) きらやか銀行育英会

地域の将来を担う人材の育成を目的に、育英資金を貸与しております。対象者は、山形県内に在住または本籍が山形県内にある学生たちです。

CSRへの取組み

Kirayaka Financial Group

山形をもっと輝かせたい(山形応援シリーズ)

当行は、地元山形を大々的に応援する企画として、“山形応援シリーズ”と称する預金商品を発売しております。

■第1弾 モンテディオ山形

きらやか銀行は、協賛企業として、「ふるさと山形」でJ1を目指し頑張るモンテディオ山形を応援しています。

平成20年4月7日より平成20年12月12日まで、「モンテディオ山形応援定期預金」の取り扱いをしております。

■第2弾 「山形の魅力」再発見

平成20年4月25日より平成20年8月29日まで、「やまがた温泉大好き定期預金」の取り扱いをしております。

きらやか銀行はこれからも、地域の皆さまと「山形の魅力」を再発見していきたいと考えております。

■第3弾 「山形の魅力」を全国に

日本国内全域のお客さまを対象にしたインターネット

支店「ネットきらやかさくらんぼ支店」の専用商品として、「ん〜まい山形定期預金」の取り扱いをしております。

「ネットきらやかさくらんぼ支店」で定期預金(300万円以上)をお預けいただいたお客さまにもれなく山形の特産物である「さくらんぼ」や「ラ・フランス」などを贈呈し、山形のおいしい魅力を全国に大きくアピールしてまいります。

■第4弾 最上川の輝きを未来へ

平成20年6月30日より平成21年3月31日までの期間限定で、「美しい山形・最上川定期」の取り扱いをしております。平成20年9月30日および平成21年3月31日現在の当該定期預金残高の0.01%相当額(各々上限100万円)を、「やまがた社会貢献基金」を通じ、最上川環境保護団体や最上川環境保護活動などに寄付いたします。

きらやか銀行は、世界遺産登録を目指している最上川の環境保護を推進・支援してまいります。

各商品の詳細につきましては、35ページをご覧ください。